

# 舞行李 춤고리

# サルプリ舞のスゴン



—こんにちは。今年もいろいろなことがありました。寿玉 そうでしたね。

—いろいろな思いを馳せながら、寿玉さんのサルプリ舞を観たいような… ああ、そういえば、前から一度伺いたいと思ってたのですが、あの布…

寿玉 スゴン（手巾）のことで



## 私が透明になって、布が語りだす



—見ていると不思議な気分になります。あれはアクセサリーですか？ それとも何か由来のあるもののですか？

寿玉 サルプリ舞に使われるようになった由来については確かなお話はわかりません。いろいろな説があるようです。キーセン（妓生）が持っていた手ぬぐい（巫堂）が儀式でチジョン（紙銭）を持って舞ったのが元だという説など。いずれにしても、布が用いられるようになってから、その布が、舞台芸術の表現に無くてはならないものになったようです。

—はつきりとした由来がわからないという事は、踊り手がどのような気持ちでスゴンを扱うのかによって、大きな表現上の違いが出てくるのではないのでしょうか？

寿玉 そうですね。踊り手一人一人にとっての意味合いが大切になって来ると思えます。ですから、人によって、スゴンの素材も大きさも様々です。

—何か興味深いエピソードがありますか？

寿玉 故金淑子先生の事です。この先生はムーダンの家系に生まれた方で、踊られるときにはミョンジュ（明袖）と言うそのまの蚕の糸で織られた3メートル以上の長いスゴンを使います。ある日先生がこんなお話をされました。「ムーダンの『巫』という字の、上と下の2本の線は、天と地、神と人のことなんだ。ムーダンというのはね、その間に入って繋いでいる人達なんだよ。だからスゴンは、天と地を繋いでいるこの縦の棒に当たるんだ」

—寿玉さんが舞うときに使われるスゴンは？

寿玉 舞台の大きさや構成で長いものを使わなくてはならないこともありますが、私自身としては、色は素地のままの生成（きな）りの白で、両腕を伸ばした中に納まるくらいのもので踊りたいと思っています。

—それはまたどうして？

寿玉 人を前にして踊るときは、「私」を語るのではなくて、空間、音楽、リズム、そして衣装やスゴンの持っている言葉を、その場に居合わせた人々と一緒に感



じたいと思っています。私が透明になって、布が語りだす、その瞬間にその布は私たちの心にある思いを紡ぎ出し、踊り手も観客も共に癒される。「ハン」に満ちた世界の中で生きる自分の姿を現すのではなく、スゴンが舞い、スゴンが語っていくような、そういう舞を踊りたいと思っていますのです。

—うーん、スゴンは踊り手だけではなくて、そこにいる一人一人にとっても、いろいろな意味合いを持つわけですね。（西方恭子）

注 スゴン（手ぬぐい）

一般的には「手ぬぐい」「タオル」のことですが、ここではサルプリ舞に用いられる、和服の反物ほどの布幅の白い布のことが語られています。

# 舞 @

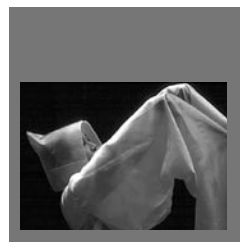
## モツチエンイ 韓国伝統舞踊の世界 村上由朗写真展



### 様々な「衣裳」

千葉登美子

寿玉の踊りでいつも強く印象に残るのは、美しい衣裳です。今回も、初日の最初に踊った時の衣裳が特に心に残りました。それは、絹のように透けていて、生成りの羽織る薄物で形は着物のようにでした。後襟と両袖口に四角い、かなり大きな金の刺繍がしてあります。腰のあたりに二本の紐がついていて、本来は合わせるのでしょうか、この時は後に回して止めてありました。これが真白な絹の光沢のある何枚も重なった、豊富な分量と質感のある下の衣裳によく映えるのです。この二つの全く質感も形も違う衣裳を重ねると、白と白の微妙な違いがこれ又美しいのです。さて、今回この美しい着物風の金の刺繍の薄物を、寿玉は踊りの途中で脱ぎ不思議な動作をしました。脱いで畳んで手に持ち、踊っていた四角い空間の四方上空にその衣裳を振り上げま



す。その動作は私には巫女が邪気を祓っているようにも見えました。その畳んだ衣裳は、何故かその時とても尊い物、清い物のように見えました。が、本当の意味は一体何だったのでしょうか？ 寿玉の踊りは、韓国人の踊るそれとは微妙に違い、そこが私は好きなのですが、踊りが違うように衣裳も寿玉独特の世界を作り出していて素敵です。今回も感じましたが、いつも乍ら寿玉の踊りへの志の高さに、胸を打たれました。

### 遙かなる道

矢野陽子

10月8日、大雨の中、久しぶりに銀座に出かけた。「韓国伝統舞踊の世界」村上由朗写真展を見に。そして趙寿玉先生の「舞」を見に。本当に今年は雨が多いなあ。ブツブツ文句を言いながら雨にぐっしょり濡れて辿り着くと先輩たちが温かい笑顔で迎えてくれた。最高。笑顔に勝るものなし。心が和らぐ。

韓国伝統舞踊

**淨律子**

宋和映 (教坊舞伝承者)  
趙寿玉

李貞恵 朴信江 丁宣希 曹和仙

2004年12月5日(日) 午後2時30分開場 3時開演

六本木 **曙会館** (TEL 03-3408-8555)


4000円 (全席自由)

主 催…舞藝舎、趙寿玉チュムパンの会

後 援…NPO法人 集団日本舞踊21

問合せ…舞藝舎 03-3260-5780

趙寿玉チュムパンの会 03-3269-3258



早かったせいかゆっくり写真を  
見ることができた。初期の写真  
が好きだった。人々の生々しい  
臭いがして。さて、踊りは何処  
で？ まさかこの狭い所で？  
そのまさかであった。ギャラ  
リーの一角、畳にして約八畳位。  
左側に楽士達が座り、そこがス  
テージだった。客席は敷敷とし  
て紺の布が敷かれ、その後には椅  
子。わたしは敷敷の一番前に陣  
取った。どんな所作でも見逃さ  
ないぞという思い。「舞」が始  
まるとその狭い空間は、無限に  
なり、重力は存在しなくなり、  
空気は濃密になった。「サルプ  
リ」と「立舞&小鼓舞」それぞ  
れの「舞」を心に刻んだ。しか  
し出来ない弟子の私はすっかり  
落ち込んでいた。こりゃだめだ。  
遙かなる遠い道のりだ。遠すぎ  
る。そんな気持ちを抱いたまま、  
相変わらず降り続く雨の中を帰  
途についた。先生の言葉がふっ  
と甦る。「皆さんに踊ることの  
楽しさを知ってほしいんです。」  
それだと思った。私は今、基本  
もできないで、体も心もがんじ  
がらめだけど時々ほんの瞬間、  
楽しいという気持ちでチラッと  
顔を出すときがある。遙かなる  
道を恐れるなかれ。一步踏み出  
し前進だ。足取りもなんだか軽  
くなっていた。

五方舞

秋の風物詩

# 김장

## キムジャン



多くの家庭では11月になると、冬に備えて大量のキムチをつけます。これをキムジャンといいます。

昔ながらの韓式住宅は、カタカナのコの字形に建物が建っていて、コの字の線のない所に門があります。中央の空間には水場があり、洗い物をしたり洗濯物を干したりします。

キムジャンの時期になると近所の女将さんが集まって、一軒のキムチ漬けを行います。そして順繰りに皆のキムチ漬けをします。

水場には大量の白菜が積み上げられ、水洗いが済むと、たらいに用意された唐辛子に薬味を混ぜたものを白菜の葉の間にすり込んで、漬けていきます。

私が下宿をしていた1976年頃には、ソウルではそういうキムジャン風景が見られました。キムジャンをするためには資金がいりますので、そのころには、会社は特別賞与を出したものです。これをキムジャンボーナスとか言っていました。

しかし時は移ろいました。ソウルにはアパートが林立し、皆が肩寄せ合って生きていた昔ながらの韓式住宅が極端に少なくなってしまうました。また女性の社会進出が進み、女性はキム

チを漬ける時間がありません。ですから近所の女将さんが集まってキムチを漬けるというのは、ソウルでは滅多に見られませんが。

キムチはキムチ工場で作られ、女将さん達は、それをスーパーで買う時代になりました。また、1997年から99年にかけていわゆるIMF事態で韓国経済が破綻直前にまで行ったことで、企業は世知辛くなり、キムジャンボーナスを出す所も少なくなってしまうました。キムジャンの風景は今では田舎で何とかが見られるぐらいのもので、かつて田舎ではキムジャンを終えると、キムチの入った瓶(かめ)を田んぼの脇に埋めて保存していました。

私の父親から聞いた話です。父も上の世代から聞いた話だろうと思います。日本が清との戦いのため、朝鮮に派兵した時に、日本の軍人は自分の田舎のことを思い出して、キムチの瓶を肥壺だと思ひ、わざわざ善意で瓶に小便をしました。

しかし朝鮮の人から見ればキムチに小便をされたわけで、あいつらとんでもない、と、小便をしたものを懲らしめようと思いました。しかし素手と銃を持っている者との諍(いさか)いで

は、素手の方が負けるに決まっています。そうした騒ぎで多くの朝鮮人が殺されたそうです。日本人は善意でも、日本人以外の者には、善意にならないことが多いあるということ私の父親は言いたかったようです。

そんなキムチも今では日本が世界一の生産国です。多くの日本人が普通にキムチを食べる時代になりました。在日の一世も日本の地でキムジャンをしました。しかし日本の白菜は水気が多すぎるので、うまくありません。唐辛子も韓国のものほどおいしくありません。それでもわいわい言いながらキムチを漬けていました。

二世中心の現在は、韓国と事情は変わりません。多くの者がお店でキムチを買う時代になってしまいました。(李起昇)



掲示板

韓国伝統音楽と舞踊  
韓絃樂 滅紫月

11月27日(土)  
開場5時30分 開演6時  
南青山鏡仙会能樂堂  
03-3401-2285  
5000円

出演・金清満 李世煥 金辰星  
主催・問合せ  
韓絃樂「滅紫月」実行委員会  
電話03-5330-2230

### 李明姫伝統音楽の調べ

12月3日(金)  
開場6時 開演6時30分  
スペースDO(ドウ)  
前売り3000円 当日3500円  
主催・問合せ  
韓国伝統楽器専門店  
BBD ビー・ビー・デー  
電話03-5330-2230

### 趙寿玉チュムパンの会 舞踊教室おさらい会

日時..2004年12月12日(日)  
午後1時30分  
場所..榎木町地域センター4F  
最寄り駅..大江戸線牛込柳町  
東西線 早稲田

03-3302-8585  
◎お問合せ  
事務局03-3269-3258  
(趙富子)  
会場準備の都合上、お越し頂ける方は事前に事務局までご連絡頂けると幸いです。



# なぜ舞踊をはじめたのか

金香清



最近やっと練習用のチマを買った。それはそれは、楽しみにしていたチマをはいてはみたものの、鏡に映る自分が何となくしっくりこない。チマの巻き方が悪いのか、高い背のせいなのか。気がつく、鏡の中の自分となるべく目をあわせないようになっている。

踊りは美しいものを人前で披露する、なんとなく「媚びた」ものという固定観念があるのだ。じゃあ何で習っているのだろう。小学校から民族学校に通った私は、幼い頃から民族舞踊に接する機会が多かった。しかしあまり関心はなく、どちらかというとマンガ『ガラスの仮面』ばりの「女の怖い世界」という印象があつて近寄り難い世界だった。反面、同胞の結婚式や集まりでハルモニたちがケンガリや長鼓にあわせてオツケチユムを踊る姿は「素敵だなあ」と思ったりもしていた。

注・オツケチユム＝肩を動かして踊る踊り。  
 社会人になってから『伝説の舞姫―崔承姫』という映画を観たのが、舞踊に「魅せられた」きっかけだったと思う。崔承姫は一九四〇年代日本と朝鮮半島で活躍した舞踊家で、祖国の被植民地支配と解放後もない朝鮮戦争という時代の混乱の中で「舞い続けること」を貫き通した人だ。崔承姫の半生をふりかえったこのドキュメンタリー映

画を観た後、数週間は舞踊のことばかり考えて暮らしていた。そしてその後、韓国の人間国宝・李梅芳先生の公演などを観る機会もあり、どんどん舞踊の世界に引き込まれていった。

しかし「自分が踊りたい」とはまったく考えていなかった。それが昨年のチユムパンの会が主催する「おさらい会」を観て変わった。「憧れ」から「自分で楽しみたい」という考えに移行したのだ。会が終わった後の懇談会での様子で少なくとも『ガラスの仮面』のような怖いお教室ではないこともわかったし……（笑）。

私に通っているクラス（木曜・幡ヶ谷社会教育会館）は中級者から初心者までいるが、「踊りが好きでしょうがない」という共通の空気が、マイナスイオンより心地よかつたりする。あとは何と言っても、チャンダン（リズム）にあわせて身体を動かすのはとても楽しい。仕事柄、一日中脳ミソは汗をかきっぱなしだけれども、教室にきて舞踊で本物の汗を流すと、

## 舞踊教室だより 教育は共育なり

2004年10月14日

橋本幸子

今日は、銀座での写真展での踊りの最終日である。今頃、踊っている時分だと時計をながめつつ練習に入る。10月9日は、あのすごい台風の中でも休演せずに踊った。先生をはじめ皆さん本当にご苦労様でした。

一人で中級の練習をする。まだ最初のほんの一部しか覚えられず、サルプリ長短（チャンダン＝リズムのこと）もうまく取る事が出来ない。それに加えて富子さんも鮮（ソノソノクさんのこと）ちゃんもいない。ビデオを見ながら順番のメモを取り、それを練習着の間に挟んで

カンニングしつつ練習する。はじめ淋しいなという感じがあったが、きつと、いつまでも他人に甘えるなよという試練ののだと、前向きに捉えようと思う。そのうち多美ちゃん、志生ちゃんと同じように集まって来る。一日でも先輩の人がそれぞれ先生役をする。美里ちゃんが志生ちゃんへ、多美ちゃんが基本舞をリードし、プチュチュムは優子ちゃん、箱ちゃんがそれぞれ自分のもっている力を一生懸命、伝えようとしている。まさに「教える事は、教わること」「教育は共育なり」を実践している。とつともうれしい光景だ。

練習が終わり帰り仕度するとき、優子ちゃんの指にキラリ！と輝くものが……。エンゲージリングと。笑顔も宝石に負けず輝いていた。オメデトー！！  
 （連絡帳より）

いつのまにか精神の疲れが吹っ飛んでいる。

何より民族舞踊は「媚びる」ものではなく、人間の内なるものの表れだからこそ「きれい」なのだし、私も魅了されたのだと気づいた。それにしても若輩者の私に「内なるもの」は少なすぎる。

今年の「おさらい会」で基本の一部を披露することになった。

一年前、まさか自分がその場で踊ることになるとは想像すらしなかった。せめて動作を間違えないで踊りたいと思う。それが当面の目標。

そして最終的な目標は、私が「ハルモニ」になった頃、若い人に「素敵だな」と思われるくらい、結婚式で堂々と踊れるようになることかな。

